

'13年度第3四半期決算



2014. 1. 31

売上高・営業利益・経常利益・純利益ともに過去最高
引き続き、国内住設事業がリモデル・新築ともに伸長、
売上高の増加とコストリダクションの効果により大幅増益

売上:	4年連続の増収
営業利益:	4年連続の増益
経常利益:	4年連続の増益
当期純利益:	4年連続の増益

【国内住設事業】

- ・低金利や所得環境、消費者マインドの改善等に加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、住宅市場は活況
- ・販売戦略と商品力によるシェアアップの継続により、リモデル・新築とも売上好調
- ・幅広い商品においてプラットフォーム化を図る等のコストリダクションを推進

【海外住設事業】

- ・中国は不動産抑制政策の影響は続いているものの、市場環境の変化に対応し業績は堅調
- ・米国やアジア諸国の市況は回復基調にあり、海外住設事業全体で増収増益

【新領域事業】

- ・オンリーワン技術を活かしたセラミック事業は半導体市場の回復などを背景に大幅伸長
- ・光触媒を利用した環境建材事業はハウスメーカーにおけるハイドロテクト商品の販売などが伸長

■P/L概要

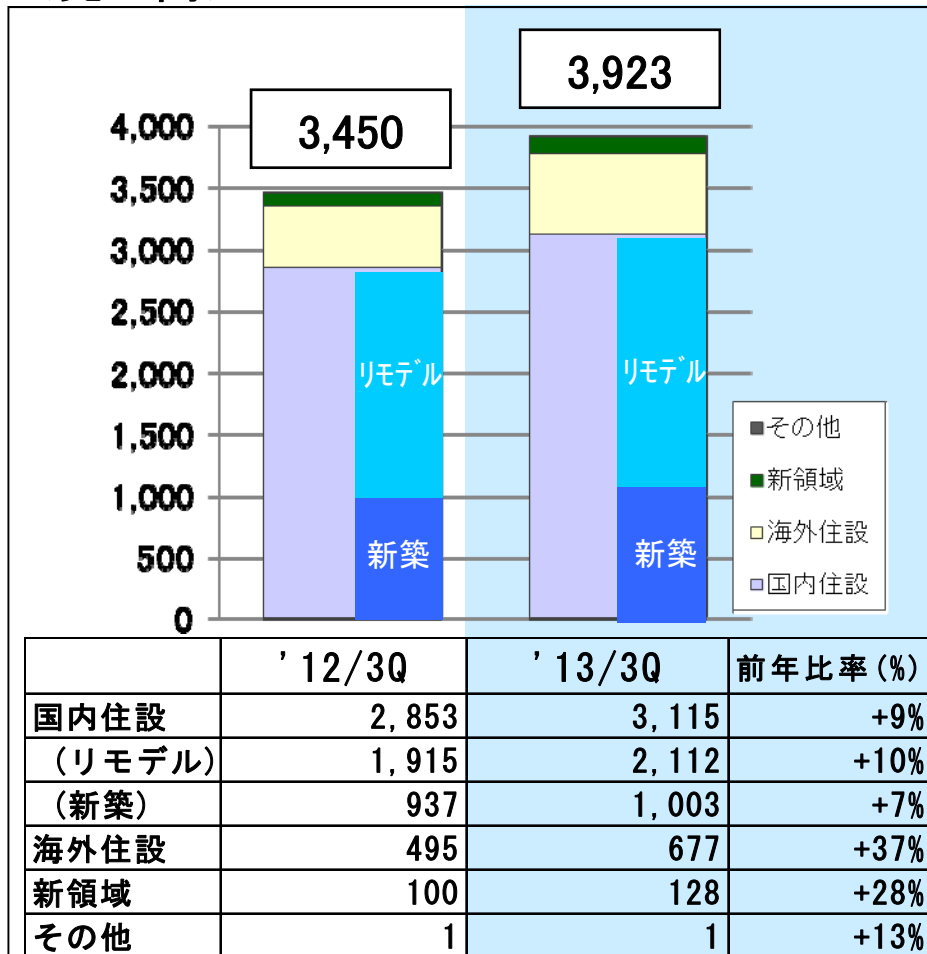
単位：億円(未満は切り捨て)

	'12/3Q 実績	'13/3Q		前年比増減 (前年比率)
		計画	実績	
売上高	3,450	3,900	3,923	+473 (+14%)
営業利益	168	295	325	+157 (約1.9倍)
経常利益	185	316	355	+170 (約1.9倍)
特別損益	▲ 25	87	89	+114
当期純利益	129	315	336	+207 (約2.6倍)

消費税引き上げに伴う駆け込み需要増等により、売上・利益とも好調に推移。
特別利益として保有ビルの売却益49億円を計上。

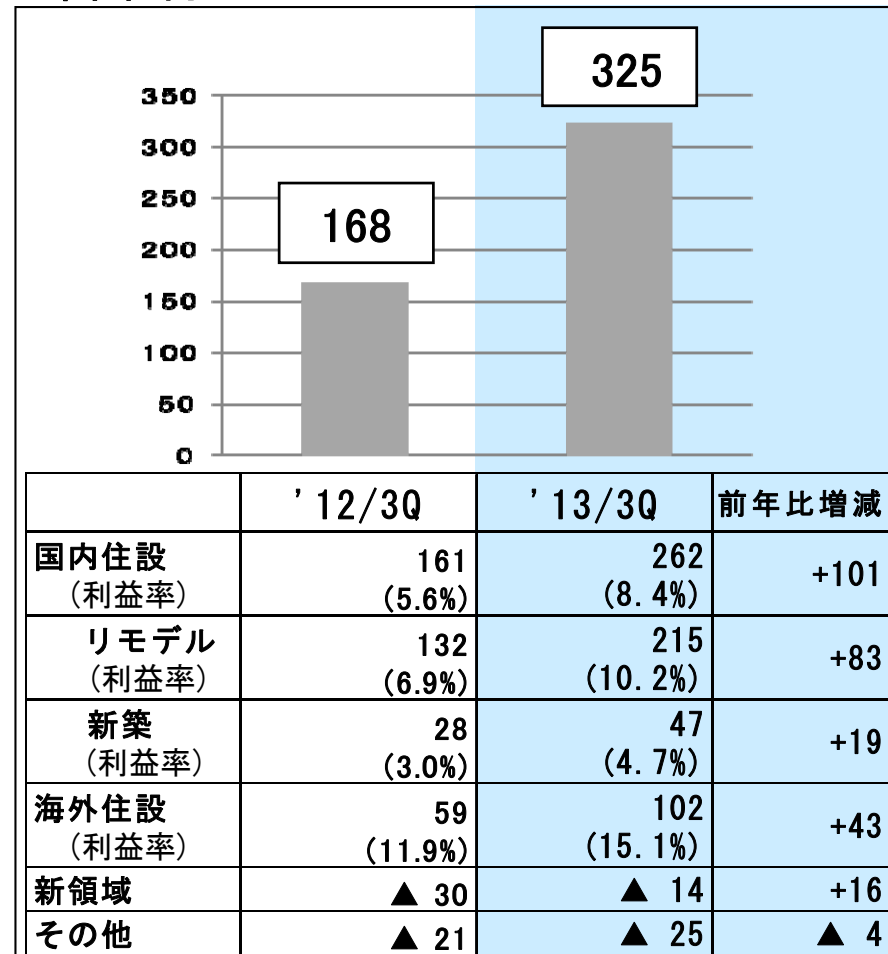
■ 需要分野別売上高・営業利益

<売上高>



<営業利益>

単位: 億円(未満は切り捨て)



国内住設事業を中心に全セグメントで売上・利益とも伸長。
営業利益は前年比約1.9倍。

■国内住設事業の商品別業績

単位：億円(未満は切り捨て)

	売上高		
	'12/3Q	'13/3Q	前年比率(%)
レストルーム計	1,106	1,204	+9%
水栓機器			
浴室			
キッチン・洗面			
バス・キッチン計	1,522	1,678	+10%
その他計	287	313	+9%
合計(調整前) ※	2,916	3,196	+10%
国内住設合計	2,853	3,115	+9%

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。

ウォシュレット一体形便器「ネオレスト」、「ウォシュレット アプリコット」、システムバス「サザナ」等の販売が引き続き好調。すべての商品で増収。

■海外住設事業の市場別業績

■現地通貨ベース		売上高			営業利益		
	通貨	' 12/3Q	' 13/3Q	前年比率 (%)	' 12/3Q	' 13/3Q	前年比増減
米州	百万ドル	155.5	174.9	+12%	1.5	9.2	+7.7
中国	億元	21.8	22.8	+5%	4.5	5.0	+0.5
アジア	百万ドル	113.2	118.4	+5%	8.7	18.8	+10.1
欧州	百万ユーロ	18.2	20.3	+12%	▲ 4.5	▲ 4.0	+0.5

■日本円ベース

米州	億円	120.6	170.9	+42%	1.1	8.9	+7.8
中国	億円	268.7	364.1	+35%	55.6	80.4	+24.8
アジア	億円	87.8	115.7	+32%	6.7	18.3	+11.6
欧州	億円	18.2	26.7	+47%	▲ 4.5	▲ 5.2	▲ 0.7
計	億円	495.5	677.6	+37%	59.0	102.5	+43.5

為替前提	1ドル	77.6	97.8
	1元	12.3	16.0
	1ユーロ	100.2	131.9

全地域で増収増益(現地通貨ベース)。日本円ベースは為替影響もあり大幅な増収増益。
 中国:市場環境の変化に対応し販売は堅調。
 米州・アジア:市況は回復基調、生産性向上もあり、増収増益。

■ 営業利益の増減益要因(前年差異)

単位:億円(未満は切り捨て)

増減要因		'13/3Q		
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション	+31	+60
		Vプランコストリダクション	+29	
	リモデル売上高の増加		+69	*
	新築売上高の増加		+16	*
	海外住設損益		+43	
	新領域事業損益		+16	
	減価償却方法基準変更		+30	
	その他		+16	*
マイナス 要因	原材料の値上がり		▲25	
	Vプラン投資		▲11	
	販売強化投資		▲13	
	労務費関連の増加		▲32	
	普及品市場(ホリウムゾーン)拡大のための対応		▲12	
合計		+157		

* 来年度消費税増税に伴う前倒し影響:約30億円

国内住設事業におけるリモデル分野、
および海外住設事業が想定を上回り好調に推移したこと等により
通期計画を上方修正。
売上高・営業利益・経常利益・純利益のすべてで、過去最高を見込む。

【国内住設事業】

- ・消費税引き上げに伴う駆け込み需要等があり市況が活況にある中、
リモデルが好調に推移したこと等により、売上高・営業利益を上方修正。

【海外住設事業】

- ・各地域で売上、利益とも堅調に推移したことに加え、為替変動による影響を加味し、上方修正。

【新領域事業】

- ・見通しに変更なし。

■P/L概要

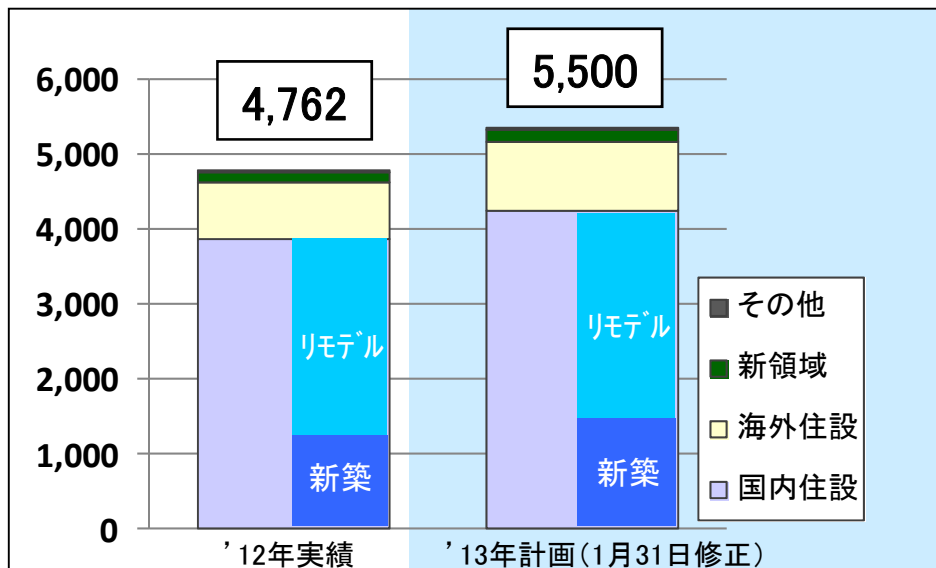
単位：億円(未満は切り捨て)

	'12年度 実績	'13年度計画		前年比増減 (前年比率)
		前回計画 <small>('13年10月31日発表)</small>	修正計画	
売上高	4,762	5,335	5,500	+738 (+16%)
営業利益	233	390	460	+227 (約2倍)
経常利益	260	409	485	+225 (約1.9倍)
特別損益	▲ 36	53	44	+80
当期純利益	169	370	410	+241 (約2.4倍)

国内リモデルおよび海外の好調を織り込み、上方修正。
売上高、営業利益、経常利益、純利益のすべてで、過去最高を見込む。

■ 需要分野別売上高

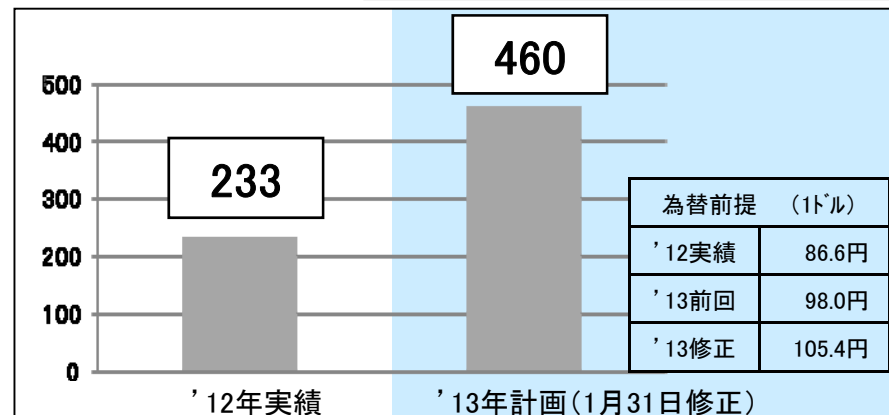
<売上高>



	'12実績	'13計画		前年比率 (%)
		前回予想 (10月31日発表)	修正計画	
国内住設	3,868	4,228	4,306	+11%
(リモデル)	2,581	2,821	2,899	+12%
(新築)	1,286	1,406	1,407	+9%
海外住設	751	919	1,009	+34%
新領域	141	184	182	+29%
その他	1	2	2	+19%

<営業利益>

単位: 億円 (未満は切り捨て)



	'12実績	'13計画		前年比増減
		前回予想 (10月31日発表)	修正計画	
国内住設 (利益率)	216 (5.6%)	318 (7.5%)	345 (8.0%)	+129
リモデル (利益率)	182 (7.1%)	262 (9.3%)	286 (9.9%)	+105
新築 (利益率)	34 (2.6%)	55 (3.9%)	58 (4.1%)	+24
海外住設 (利益率)	81 (10.8%)	118 (12.8%)	159 (15.7%)	+78
新領域	▲ 35	▲ 12	▲ 14	+21
その他	▲ 28	▲ 34	▲ 29	▲ 1

リモデルが好調に推移したことを受け、国内の売上・利益を上方修正。
海外も売上・利益とも堅調に推移したことに加え、為替変動の影響分を加味。

このプレゼンテーション資料は、2014年1月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO